



高輪だより

令和7年度 12月号
港区立高輪幼稚園
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん



教育目標の実現に向けて

園長 佐々木 勝世

園庭の木々が鮮やかに色付き、そして落ち葉となって舞い散る季節となりました。子どもたちは、拾った落ち葉を眺めて色のグラデーションの美しさを感じたり、ドングリと一緒にままごとや工作に使ったりして、遊びを通して秋の自然を体感しています。

さて11月17日に、高松アカデミー（高松中、高輪台小、白金小、高輪幼、白金台幼で構成するグループ）で教員の研究会がありました。白金台幼稚園の保育を観察し、その後、小・中学校の教員と共に幼児の学びや育ちについて話し合いました。幼稚園は「遊びを中心とした総合的な指導」、小学校以降は「各教科等の目標・内容に沿って選択された教材による授業」という教育方法の違いはあるものの、幼稚園での学びが小学校以降の学習の基盤となっていることを確認しました。例えば、先生や友達との会話の中で国語科につながる様々な言葉を獲得し、積み木の構成などでは算数科につながる数量・図形などの感覚を豊かにしています。そして、それらの知識や技能を駆使して自分のしたいことを実現する思考力・判断力、仲間に思いを伝える表現力、もっとこうしてみたいという探究心や、うまくいかないことがあっても諦めない粘り強さなどの学びに向かう力が、遊びを通して育まれています*。

11月20日には、4、5歳児が地域探検で高輪森の公園に出掛けました。5歳児が崖登りに挑戦していたのですが、そこで子どもたちの成長を感じるととても素敵な場面があったので紹介します。崖はかなりの急斜面で、慎重に足場を選び、地面から飛び出している樹木の根などを手掛かりに、頭と体を最大限に働かせて登る必要があります（天然のボルダリングですね）。崖の頂上付近が一番の難所なのですが、Aくんがそこで登ることも戻ることもできず動けなくなってしまいました。すると、先に登頂していたBくんが「助けに行くから待ってて」と、困っているAくんのところへ下りて行って、手をつなぎ一緒に登り始めました。「Aくん頑張れ!」「あと少し」と、近くにいた他の友達も大きな声で声援を送りました。そして、何とか登り切ったとき、「やったね!」「頑張ったね!」と応援していた子たちがAくんに駆け寄り、抱きしめました。そのときの子どもたちの姿は、まさに本園の教育目標である「やさしく、かしこく、たくましく伸びる高輪の子」そのものでした。これからも教育目標の実現につながる園生活の充実を、各学年で進めてまいります。



落ち葉の山に入って、ふかふかの感触を楽しむ3歳児。

*文部科学省は、幼稚園から高等学校まで、学校教育全体で育む資質・能力として、次の3つを挙げています。

- ◆知識及び技能
- ◆思考力・判断力・表現力
- ◆学びに向かう力、人間性等



積み木で遊ぶ4歳児。形の特徴を生かして構成したり、分類して片付けたりしています。



仲間と励まし合いながら、高輪森の公園の崖を登る5歳児。

高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています！

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-tky.ed.jp>

【X（エックス）】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



X エックス